

宗谷圏域における重点課題

重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不足している医療機能(回復期機能)の確保 ○ ICTを活用した地域ネットワークの構築 ○ 在宅医療の確保 ○ 医師をはじめとする医療従事者の確保
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不足している医療機能(回復期機能)の確保 <ul style="list-style-type: none"> 宗谷圏域における2025年の回復期機能の必要病床数は「271床」となる見込みであるが、令和3年7月現在の病床数は「155床」となっており、今後、116床を確保していく必要がある。 なお、定量的基準を用いて算出した回復期の病床数は、2025年の必要病床数を概ね確保できているが、リハビリテーション機能などの検証が必要。 ○ ICTを活用した地域ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> 宗谷圏域では、名寄市立総合病院を中心とした上川北部医療連携ネットワーク(ポラリスネット)が稼働しているが、老朽化等による設備の更新が必要となっており、更新に伴う財政負担が課題となっている。また、ネットワークの充実を図るための参画医療機関の拡大や遠隔医療などのネットワークの構築が必要である。 ○ 在宅医療の確保 <ul style="list-style-type: none"> 宗谷圏域では、在宅医療を実施している医療機関は複数あるものの、在宅療養支援病院はなく、また、在宅療養支援診療所は1施設のみとなっている。さらに、訪問看護サービスを受けられない地域が1町あるなど在宅医療に係る資源が不足している。 今後、必要な在宅医療を確保するため、医療従事者や介護従事者の確保をはじめ、地域住民への在宅医療の理解促進のための普及啓発も必要である。 ○ 医師をはじめとする医療従事者の確保 <ul style="list-style-type: none"> 宗谷圏域では、人口10万人あたりの医師数が全道平均を大きく下回っており、また、看護職員についても全道平均を下回っているなど医療従事者が不足している状況であり、各医療機関等においては医療従事者の確保に苦慮している。特に地域センター病院である市立稚内病院においては、循環器科など複数の診療科で常勤医が不足しており、医師確保は喫緊の課題である。 また、地域における回復期機能の確保や在宅医療を推進するためには、医師等の医療従事者の確保が必要である。